

END  
POLIO  
NOW

Rotary International District2510 2020 July

# GOVERNOR'S Monthly Letter

2020-2021年度 ガバナー月信

No.2  
2020

8



ロータリーは機会の扉を開く



Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第2510地区  
2020-2021年度 ガバナー 福井 敬悟

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL/011-207-2510 FAX/011-207-2512

E-MAIL/rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

# 2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」



## 国際ロータリー第2510地区 2020-2021年度地区目標

2020年日本のロータリー100周年を祝おう!  
~これからの100年に向けて~

- ① IT活用の推進と公共イメージの向上
- ② 会員基盤の強化
- ③ 1クラブ1プロジェクトの推進
- ④ ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- ⑤ クラブ戦略計画の作成に期待

### CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●ハイライトよねやま	20
●2020-2021年度地区委員会活動計画	2	●地区カレンダー	22
●ガバナーノミネー候補者推薦のお願い	13	●2020-2021年度地区大会のご案内	23
●コーディネーターNEWS	14	●米山奨学生の紹介	24
●第1地域RRFC便り	16	●ロータリー探訪	25
●新会員紹介・訃報	19	●立法案提出のお願い	26





# 機会の扉を開きましょう!

国際ロータリー第2510地区

2020—2021年度ガバナー

**福井 敬悟**  
(札幌手稲RC)

北海道に例年通り爽やかな夏が訪れました。新年度がスタートして一カ月、各クラブにおかれましてはCOVID-19の影響で通常通りの例会並びに活動が難しい状況の中、様々な工夫を以て対応されていることと思います。

どのような状況下でも時は待ってくれず、万人に等しく刻まれていきます。

私は、ガバナーとしての職務のスタートでもある7月1日の第1回ガバナー会も残念ながらこの影響下でZOOMでの開催となり、氣勢をそがれ残念至極でございました。

その後、7月7日深川・妹背牛 RC から始まりました公式訪問は7月中に15クラブの訪問を無事終えさせていただきました。PETS、地区研修・協議会の相次ぐ見合わせで、初めて直接皆さまの顔を拝見でき、大変嬉しくホッといたしました。

各クラブ訪問に際しましては、温かく心のこもったご対応をいただき、会長・幹事会とクラブ協議会では周到にご準備された資料等を基に、クラブの現状、計画、課題、地区への要望などについて有意義な情報共有と交換をさせていただきました。

例会では、それぞれのクラブの雰囲気を感じることができました。今後はこの訪問を重く受け止め、皆さまのお役に立ち寄り添う地区運営に努めてまいりたいと思います。

さて、8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。会員増強は、組織を継続、拡大していくため、またその活動をより活発に、活性化していくために必要で重要なことです。

今年度、ホルガー・クナーク RI会長はロータリーの成長に対して、「数字を掲げて成長を求めることはしません。」という斬新な発言をされました。

皆さまには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能な形でいかにしてロータリーを成長させることが出来るかを考え、いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員に募れるか、そして立ちはだかる課題に立ち向かうため、いかに組織を強く出来るかを考えてほしいと投げかけていらっやいます。私たちは常に様々な課題を自ら見つけ、

そしてその機会に自ら行動を起こさなくてはなりません。COVID-19パンデミックもあって、ロータリーはさらに興味深いかたちで進化しています。

私たちはこの急速な変化に負けてはならないし、負けません。この機会をとらえて、それに適応し、より強いロータリーと成長させるのです。

地区方針で掲げた「守・破・離」の「守」である「ロータリーの基本理念」「定款・細則」「ロータリー章典」という素材を以て作られた「ロータリーの奉仕理念」という礎を持つ私たちには、この一見困難のように見える状況においても、それを乗り越える回復力があると思います。

それは、ロータリアンが互いに協力し合い手を取り合うことで、大きな力となって行動に移されていくと信じております。そしてさらに成長させるには、クラブという礎に、新しい素材とアイデアが効果的です。それは新会員の存在とその経験・知識だと考えます。

新会員の増強は必ずクラブに新しい風を吹き込み活性化すると思います。

ロータリーの魅力は、多くの人との出会いにあると思います。その人に出会い、共に活動することで、新しいことに気づき、受け入れ実践することで、難局を乗り越えることも出来るのです。

そして、その新会員は、ただロータリーに入会するというだけではなく、様々なリーダーシップの機会、地域社会のささやかなプロジェクトから大規模な国際的プロジェクトなどに奉仕する機会、世界中の友人と、共に、より豊かで意義ある人生への機会など、無限の機会を得ることが出来るのです。

新しい友をクラブに迎える第一歩を踏み出してください。変化を恐れずに、行動してみることが、クラブの活性化に必ず繋がると思います。

地区としてそのお手伝いを精一杯させていただきます。

会員皆さまの健康と安全が第一でございますので、くれぐれもご健康に留意され有意義な日々を送られますよう祈念いたします。

# 2020-2021 年度 地区委員会活動計画書

## 地区会員増強委員会



委員長

**武部 實**  
(札幌南 RC・PG)

### 1. 活動方針

福井年度の地区目標をサポートする。

1. 地域の職業分類を調査し更なる会員増強を推進する。
2. クラブ会員の後継者を含めた若者達へ向けて「衛星クラブ」の設立を奨励支援する。
3. 女性会員や40歳未満の会員の入会を特に推進支援する。

各クラブの入会勧誘資料作成へのアドバイス

各クラブの特徴を整理した、入会勧誘資料の整備が重要です。入会勧誘資料があれば、入会3年未満の会員であっても、会員増強活動に参加する事が出来ます。若い会員が若い人を誘うことにより、クラブの活性化が期待できると思います。

マスコミ活用による公共イメージの向上

3年間にわたり、財界さつぽろで、毎月2ページにわたり、ロータリー活動を、無料で取り上げて頂きました。地方のロータリークラブの様々な奉仕活動を、当地区の会員に知って頂く、更には道民の皆さんに、ロータリーを理解して頂く、そんな想いでロータリアンの舟本社長にお願いをして実現した企画です。地区内70全てのクラブの、奉仕活動を紹介致しました。地区公共イメージ向上委員会等と協力し、全クラブの奉仕活動を小冊子にまとめ、会員増強に役立てたいと思います。

### 2. 活動計画

1. 2020年7月26日(日) 地区会員増強セミナーの開催
2. 地区会員増強委員のガバナー補佐の皆さんと協力し、各クラブの支援を行う。
3. 各クラブの優れた会員増強活動を調査し、各クラブに紹介する。

## 地区RI 国際大会推進委員会



委員長

**小山 司**  
(札幌 RC・PG)

### 1. 活動方針

- 1) 2020-2021年度の国際大会は、台湾の台北市で2021年6月12日～6月16日の日程で開催されます。国際ロータリーの基本的方針の確認。
- 2) 世界のロータリアンとの交流。
- 3) 2021年6月13日、福井敬悟ガバナー、地区役員及び委員、参加ロータリアンの慰労と親睦を目的とした北海道ナイトをシェラトングランドホテルの台北喜來登大飯店で開催の予定。

### 2. 活動計画

- 1) 諸々の会合で国際大会をPRする。
- 2) ガバナー月信を通じて周知し、参加登録の推進を図るとともに、ICT委員会と連携し、地区ホームページを通じて大会への参加登録を推進する。
- 3) 開催地の台北の人口は2019年10月時点で2,646,204人であり、市域の人口では衛星都市の新北市に抜かれたものの、中華民国の首都であり、アジア屈指の世界都市でもあります。北緯25度付近の東アジア大陸と太平洋のあいだに位置し、モンゴル高気圧と温暖湿潤な太平洋高気圧の影響を受けた亜熱帯気候が特徴です。日本と台湾とのロータリークラブの交流については、これまで日台ロータリー親善友好会議等を通して実りある成果が得られており、特に新北市の第3490地区と当地区との間では毎年、地区大会への地区役員の相互参加が続けられており、また2018年の「胆振東部地震」の発生に際しては、いち早く災害義援金をお寄せいただきました。当地区からの多く



の参加登録をご期待申し上げます。

- 4) 国宝がズラリと並ぶ台北観光の要の国立故宮博物院、蒋介石を讃える中正記念堂、台湾最大の夜市である士林夜市、台湾観光の定番である九份、台北101などの高層ビル群など、豊富な人気観光スポット・名所に恵まれています。また、台湾高速鉄道を利用すると、台北―高雄間345kmを最高速度300km/hで所要時間約1時間30分です。この機会に台湾全国に足を延ばしては如何でしょうか。参加の皆様楽しんでいただける旅行プランをいろいろご提案したいと考えています。



委員長

**細川好弘**  
(静内 RC・PG)

## 危機管理委員会

### 1. 活動方針

国際ロータリー基本理念として五大奉仕部門は、ロータリークラブ活動の哲学的及び実際的な基準であると声明されております。

標準ロータリークラブ定款第6条で奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらせることを認識するものであると奨励されております。

未来のロータリアンとして、ロータリー活動に参加するすべての青少年の為に安心・安全な環境をつくり、これを維持するよう努める為、安全を考え、肉体的・性的あるいは精神的な虐待から身を守るため、最善を尽くす責任を果たす役割がロータリアンに果たせられている危機管理を周知する。

### 2. 活動計画

- 1) 青少年保護のための資料を各委員会・各クラブへ配布、危機管理意識を高める
- 2) 青少年交換委員会プログラムに加えて、インターアクト・ローターアクト・RYLAプログラム活動中の賠償責任保険にも加入
- 3) 地区危機管理委員会を随意開催予定



委員長

**石川信行**  
(札幌手稲 RC)

## 地区文献資料室

### 1. 活動方針

1. 文献資料室を各クラブがより利用しやすい環境を提供するとともに、新たな文献・資料の収集方法を検討する。
2. 時代に適合した文献資料室の在り方を検討する

### 2. 活動計画

1. 貸出リストを整備するとともに、ガバナー月信を利用して情報発信を行う。
2. 今後の文献資料室の在り方について、検討会議及びヒアリングの実施



委員長  
**前田 浩人**  
(苫小牧 RC)

## 学友委員会

### 1. 活動方針

1. ローターファミリー（インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラリアン、ローテックス、米山奨学生、財団奨学生）及び VTT を対象にこれらの学友とロータリーをつなげる組織としての学友会活動を支援・協力する。
2. ローターとのつながりを再構築することを目的に学友のロータリー活動への参加を推進し、お互いの活動に対し理解を深める。
3. 学友に対するロータリアンの理解向上のための活動を推進する。
4. 学友とロータリーをつなぎ、ロータリアンとなることを推進する。

### 2. 活動計画

1. 学友委員会を定期的に開催する。
2. 学友すべてが集まる「学友体験・帰国報告会」を開催し、学友相互の親睦と理解を図る。
3. 学友会ニューズレターを発行する。
4. 学友に対し第2510地区大会へのブース等の参加とクラブ例会での卓話を推進する。
5. 日本ロータリー学友会との交流を推進する。
6. 財団学友会と米山学友会とローターアクト学友会の活動を支援する。
7. 財団奨学生のオリエンテーションへの協力を推進する。



委員長  
**渡邊 葉子**  
(札幌西北 RC)

## RLI 委員会

### 1. 活動方針

1. 地区内各クラブの活性化につながる RLI セミナー開催を行う。
2. そのための準備（DL スキルアップ・広報活動・参加者満足度アップ）に力を入れる。
3. 全クラブが戦略計画を立案できるように、セミナー参加者同士の情報交換を助ける。
4. リーダーシップと多様性の重要性を参加者にご理解いただく。

### 2. 活動計画

1. 年3回以上の RLI セミナー開催。
2. セミナーに向け、各セッションの重点見直しと DL の情報共有。
3. DL スキルアップのための研修を行う。
4. 新 DL の育成。
5. セミナーの円滑な運営に向け委員会開催、DL へ協力要請。



委員長  
**岡崎 芳明**  
(小樽南 RC)

## クラブ奉仕委員会

### 1. 活動方針

これからの100年に向けて今年度地区目標である、IT活用と公共イメージの向上、会員基盤の強化、クラブ戦略計画の作成の達成を目指し、公共イメージ向上委員会、ICT 委員会、ロータリー情報委員会と共に活動していく。  
併せて各委員会同士の任務や責務や活動計画を共有しながら課題を整理し、地区内クラブの現状を把握し効果的な委員会活動を進めていく。

### 2. 活動計画

1. クラブ奉仕委員会に於いて、各委員会の活動計画を共有し、協力できる部分を明確にする。
2. 各クラブに担当者リストを作成頂き、クラブ奉仕委員会としての合同リストを作成する。
3. 各委員会がクラブに対し情報収集する場合、重複等を避けるためのルールを検討する。
4. 各クラブの活動内容の現状を把握し、各クラブの求めているものを明確にとらえ、共有す

- る。
- 5、各クラブのクラブ奉仕委員会に関係する活動計画を把握し、各ガバナー補佐を通して情報収集、経過観察の協力をお願いし、対応策を委員会内で協議しガバナー補佐に伝え、参考にして頂く
  - 6、上記計画の為に各クラブに対してアンケート調査を適宜行っていきたい
  - 7、クラブ奉仕委員会を定期的に開催する。



委員長  
**武蔵輝彦**  
(岩見沢 RC)

## 公共イメージ向上委員会

### 1. 活動方針

「ロータリーは機会の扉を開く」

この「扉」の見える化に一年間努めてまいります。

### 2. 活動計画

1. 地区内クラブに対する情報の受発信  
ロータリー公共イメージコーディネーターとの連携  
地区委員会との連携  
地区幹事との連携  
以上のことを通して、各クラブに公共イメージ戦略の情報提供に努める。
2. ICT委員会との連携  
地区のプロジェクトや地区委員会の活動、各クラブの活動を外部に向けて発信する。
3. 委員会のスキルアップ  
効果的な広報の研究  
RIの公共イメージ戦略の把握  
地区プロジェクト、地区委員会の情報把握  
地区ガバナーとの情報交換  
定期的に委員会を開催し、しっかりとアンテナを張り情報の受発信に努める。



委員長  
**坂井 治**  
(千歳セントラル RC)

## ロータリー情報委員会

### 1. 活動方針

クラブ奉仕委員会との協力でクラブの会員基盤強化、クラブ中、長期計画を企画立案のできていないクラブに対しての支援を行います。

またロータリー情報委員会は RLI 委員会と協力してクラブの強化のお手伝い出来るよう努めます。

活動が停滞しているクラブに対しては、必要に応じて地区委員会が支援いたします。

クラブ委員会の構造を参照し、クラブのどの委員会と協力出来るか検討いたします。

クラブが現状分析を行って強みと弱みを突きとめられるよう援助し、各クラブが支援を必要とする分野を判断できるように支援します。

### 2. 活動計画

次の項目についてクラブからの情報を収集し未達成クラブに対し支援する

#### ①クラブの情報委員会の任務

1. 入会候補者にロータリー・クラブにおける会員の特権と責務に関する情報を提供する。
2. 会員にロータリーの歴史、目的、活動に関する情報を提供する。
3. 入会してから最初の一年間、新会員のオリエンテーションを監督する。
4. クラブの創立記念、ロータリー創立記念日の特別プログラムを実施する。
5. ロータリーの歴史や奉仕に関するフォーラムや勉強会を実施する。
6. クラブ会報に、RIの各種プログラム、諸会合、その他ニュースなどをロータリー情報と



し掲載する。

7. 例会において3分間情報を提供する。
8. ロータリー出版物の紹介。
9. クラブ会報委員会、プログラム委員会、広報委員会との緊密な提携が必要。

## ②入会3年未満に対するオリエンテーション

1. ロータリーの基礎知識や考え方についての理解に乏しく、不正確な解釈や疑問を抱えたままになっているケースも多いので、ロータリーの基礎知識や基本的考え方について正確な情報を提供する必要がある。
2. IM・地区大会に推薦者と共に出席するように依頼する。
3. 中堅会員、ベテラン会員に対するオリエンテーションなどが必要であることをお知らせする。
4. クラブ中、長期計画を企画立案の確認



委員長

**堀元 雅司**  
(札幌南 RC)

## ICT委員会

### 1. 活動方針

- 1) 効果的に情報発信と情報交換のための SNS の利用を促進する。
- 2) 「My Rotary」登録サポート。
- 3) 第 2510 地区内のクラブで行われている取り組みの情報の共有。

### 2. 活動計画

- 1) 国際ロータリーも推奨する SNS を効果的に使い情報発信と情報交換を促進出来るように、現在ロータリー情報委員会で作成した Facebook のグループを ICT委員会 で引き継ぎ、会員を更に増やして、タイムリーな情報発信が出来るように進める。SNSの会員を増やすためにも、登録方法の利用促進のパンフレットを作成、ガバナー補佐にも会員になって頂きたい。
- 2) ICT 委員会の引き継ぎの課題でも有る My Rotary の登録の推進のサポートは、続けてまいります。My Rotaryに登録することにより得られる情報や、ロータリークラブセントラルが、より有効に機能する為にも登録の推進をお願いします。
- 3) 各クラブでの取り組みを、もっと他のクラブへも情報として発信する事で、新たな取り組みのヒントになると考えます。もっと情報の共有をタイムリーに行って行きたい。



委員長

**玉井 清治**  
(函館亀田 RC)

## 職業奉仕委員会

### 1. 活動方針

ロータリーの職業奉仕理念を正確に各クラブ職業奉仕委員長さんへ伝えることに重点を置き、卓話、フォーラム等を通じて理解を深めていただけるよう支援する。また、従来の活動に加え、ICTを活用したコンテンツの作成や委員会活動に取り組む。

### 2. 活動計画

- 計画1 「わかりやすい職業奉仕 2510」資料の作成。テーマごとに5分間前後の YouTube 動画を作成して地区ホームページ及びガバナー月信に掲載し、QRコードにて、いつでも、どこでもスマートフォンにて見られる環境を整備する。(新型コロナウイルスの影響による対策)
- 計画2 地区のホームページに「職業奉仕」のコーナーを創設していただき、関連資料をダウンロードできるように告知する。
- 計画3 クラブ個別支援。
- 計画4 委員会内での勉強会の開催。



委員長  
**富岡 豊**  
(静内 RC)

## 国際奉仕・VTT委員会

### 1. 活動方針

第2510地区 各クラブの皆様へ、地区国際奉仕・VTT委員会の活動を理解していただき、国際奉仕事業へ参加、現地検証などしていただけるようにサポートする。  
地区事業として、職業訓練事業をタイの第3340地区 ノンカイの職業訓練校において展開する。  
また、国際奉仕・VTT事業には地区ロータリー財団等との連携をとるものとする。

### 2. 活動計画

#### 1. 国際奉仕事業の実施

各クラブに、支援国の実情に応じてモデルプランを提供し、国際奉仕事業の参加をお願いする。

また、国際奉仕活動には各クラブからの支援を中心に、地区ロータリー財団や他の地区、各委員会の協力を得て、事業をスムーズに展開する。

さらに、現地事業検証を企画・実施し、事業の進捗状況を確認するとともに、相手国ロータリークラブとの友好を図り、長年築いてきた絆をさらに強いものとし、将来の展望を協議していくものとする。

#### 2. 職業訓練奉仕事業（VTT 事業）の実施

タイ国第3340地区ノンカイにおいて、ノンカイ技術訓練校での実施事業で工業用ミシンを用いた製品デザイン制作及び職業訓練理美容事業の継続的支援を行う。

#### 3. 国際奉仕事業の啓蒙

卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等にて、地区国際奉仕事業・VTT 事業を紹介し多くの会員に理解、そして賛同を得ていくものとする。



委員長  
**高山和宏**  
(札幌東 RC)

## 社会奉仕委員会

### 1. 活動方針

各クラブの社会奉仕活動をサポートするため、地区内の 70 クラブにおける社会奉仕活動の実情を把握し、その情報を地区内会員ひとりひとりと共有できるよう、情報提供を積極的に行います。情報を共有することで、各クラブが現在抱えている課題や悩み等の解決に向けたきっかけをつくり、クラブより地区委員会に何らかの支援を求められた場合は、クラブやグループと連携し、奉仕活動の充実に寄与するよう努めます。

また、地区委員会が窓口として行った「120万本の植樹」事業や、胆振東部地震の災害支援事業についても、引き続き必要な活動を実施します。

### 2. 活動計画

- ①各クラブの奉仕活動の現状を把握し、必要に応じて情報交換、情報提供を行い、クラブとの連携を図り、奉仕事業の改善や充実や、地域ニーズに応じた新たな奉仕事業スタート等を支援する。
- ②財団委員会と連携し、地区補助金制度の積極的な活用を奨励する。
- ③「120万本の植樹」事業として行った当別町・道民の森に植樹した苗木の保育（下草刈り）を年2回・造園業者の協力のもと、実施する。
- ④時間の経過とともに変化する支援ニーズをしっかりと捕まえながら、胆振東部3町を中心に災害支援事業を継続して実践するとともに、これまでの活動報告を取りまとめる。  
可能な限り、クラブ例会等に参加し、活動報告を行い、会員の方々にどのような支援活動をおこなっているか知ってもらう。
- ⑤上記、活動計画に則り、地区研修・協議会分科会を実施する。



委員長  
**山口 史朗**  
(札幌東 RC)

## 青少年奉仕委員会

### 1. 活動方針

1. 各クラブの青少年奉仕活動支援（情報提供・企画運営補助・コーディネート）
2. 青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLAの各委員会連携と情報交換
3. 常設プログラムの各クラブへの浸透と導入を目指した広報・支援活動
4. 地区行事への協力と青少年の参加促進

### 2. 活動計画

1. ローターアクト全国研究会開催成功に向けての支援活動と登録協力
2. RYLAの地区内定着に向けて、複数開催と参加者増への推進と協力
3. インターアクトクラブの新設
4. ROTEXなどの学友把握と組織化への体制作り
5. 危機管理委員会との密接な連携による青少年の保護の徹底
6. 各クラブからの要望・要請に対する対応力強化
7. 各クラブの青少年奉仕事業の把握と支援。好取組事例の情報発信。
8. 各クラブの青少年奉仕事業についての地区補助金申請サポート
9. 青少年交換のグループ基金の拡大努力
10. 委員会の開催



委員長  
**西村 英晃**  
(恵庭 RC)

## 青少年交換委員会

### 1. 活動方針

- ・派遣候補生、受入学生、ROTEX が意義ある活動ができる場を提供する。
- ・参加学生に青少年交換 / ロータークラブの理解を深めてもらえるオリエンテーション各行事の企画を行う。
- ・参加クラブに対してクラブ、カウンセラー、ホストファミリーの役割に対しての理解を深めてもらえるオリエンテーション作りを行う。
- ・青少年交換事業に ROTEX の参加を促す。

### 2. 活動計画

- ・派遣候補生、受入学生オリエンテーションを実施（全12回程度）
- ・参加クラブ、カウンセラー、ホストファミリー向けのオリエンテーションを実施
- ・受入学生歓迎会、派遣候補生壮行会、帰国報告会を実施
- ・秋季、冬季、春季に ROTEX、派遣候補生、受入学生を対象に研修を実施
- ・第 2500 地区との交流を実施（全 3 回程度）
- ・オリエンテーションに ROTEX 参加を促し実体験報告、各行事への参加協力をしてもらう。
- ・派遣候補生、受入学生、ROTEX が参加し奉仕活動を実施（さっぽろ雪まつり、幼稚園慰問など）
- ・必要に応じて地区内高校へのプログラム / 事業説明を行う。
- ・ROTEX の組織化を継続課題とし、実体のある ROTEX 活動の構築を行う。
- ・各種オリエンテーションの内容を再検討、より時代にあった内容に改善し参加者に理解を深めてもらえるように努める。





委員長  
川本 康裕  
(室蘭北 RC)

## ローターアクト委員会

### 1. 活動方針

- ①地区ローターアクト委員会とローターアクト地区メンバーお互いの連携を押し進めていく。
- ②提唱クラブはもとより、提唱していないクラブに対してアクトの活動を理解して頂き、クラブの増強を計る。
- ③地区アクトの活動をサポートしていく。
- ④ローターアクト学友会の支援を行い交流を深め、アクトメンバー及びクラブ増強に協力を願う。
- ⑤今年度「第33回全国ローターアクト研修会」のサポートを行う。

### 2. 活動計画

- ①地区ローターアクトクラブとの連携を強化し、情報交換を密にして、効果的な奉仕活動を行っていく。
- ②地区ローターアクト委員会のメンバー同士、委員長に集まる情報をメンバー全員が共有し、委員会内での役割を明瞭化する事により、更なる透明性を計る。
- ③ローターアクトクラブの活動がいかに直接ロータリークラブの活動に繋がるかと言う事を提唱クラブは元より、否提唱クラブに認識して頂く活動を行う。
- ④昨年度発足した「ローターアクト学友会」を活用して、アクト会員増強、地区内活動における情報や、具体的活動内容についての指導等を促す。
- ⑤地区インターアクト委員会と連携を取り、ローターアクトへの入会を促す。
- ⑥地区ローターアクト委員会の活動内容の見直しを計る。地域に根差した活動がローターアクトの基本であるので、そのプロジェクトに集中できる環境整備に努める。
- ⑦今年度は2021年3月14日、15日に札幌で開催予定となっている「第33回ローターアクト研修会」が行われます。ローターアクト1,000人計画として、全国のローターアクトを1,000人札幌の地に集めようと言う目標を掲げています。当地区ローターアクト委員会は元より、当地区ロータリアンの協力に向けて活動を行う。



委員長  
西方 洋昭  
(岩見沢 RC)

## RYLA 委員会

### 1. 活動方針

RYLA委員会はロータリー、ユース、リーダーシップ、アワードの名の通り、ロータリーの青少年指導力育成プログラムとして、若い世代の多様なニーズ、地域性に合った形でセミナー開催できる委員会活動、地区内にRYLAを知っていただく委員会活動を行います。

ロータリーに関わる青少年、インター、ローター、交換留学生、奨学生、また、地域の若手リーダー候補、各企業のリーダー予備軍など、すべてのユースと関わりを持てるのはRYLAです。RYLAセミナーを通して、指導力の育成は勿論、ロータリーの理念が、如何に次の時代を見据えたものか、どれほど君たちのことを考えているかと言う思いを、素敵な先輩ロータリアンの背中を、未来のリーダーに見て感じてもらう機会としてのRYLAセミナーを開催します。予定としては地区大会の並行プログラムが第一弾と考えています。

更に各クラブにRYLAを知っていただく為の布教活動として、1年間では難しいかと思いますが、全70クラブでRYLAを理解していただく為のお話をさせていただければと考えています。

また、ローターアクトは全国研修会開催の年でもあります。ローターアクトとつながりが深いRYLA委員会として委員会メンバーはもとよりライラリアンも含め、全面的なバックアップをさせていただきたいと考えています。

### 2. 活動計画

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 4月～7月 | 新たなRYLAプログラムの企画検討、セミナーの実施計画作成 |
| 7月    | RYLAセミナーの年間計画を告知（各クラブへの広報活動）  |
| 8月～9月 | 第1回RYLAセミナー準備                 |
| 10月   | 第1回RYLAセミナー開催（地区大会並行プログラム）    |

11月～12月	第2回 RYLA セミナー準備
1月	第2回 RYLA セミナー開催
2月～3月	第3回 RYLA セミナー準備
3月	全国 RYLA 研究会への参加
4月	第3回 RYLA セミナー開催（宿泊研修）
5月～6月	RYLA セミナー報告書取りまとめ



委員長

**大西正啓**  
(札幌モーニング RC)

## インタラクティブ委員会

### 1. 活動方針

青少年の中でも特に重要な思春期の若者がロータリーという世界組織の個体活動に触れることにより、自分自身の持つ可能性を大きく開花させる機会をつくれるようにする。

### 2. 活動計画

上記の方針を達成させるため、研修旅行、地区大会（並行プログラム）、年次大会において、より有益なプログラムを作成する。



委員長

**熊澤隆樹**  
(小樽 RC・PG)

## 地区ロータリー財団委員会

### 1. 活動方針

地区ロータリー財団委員会（DRFC）は、各クラブの地区補助金の活動資金（DDF）の十分な活用と、RIの優先事項の目標達成のため、財団への寄付の推進をはかるためにロータリアンの教育・意欲喚起の啓発を進めて参ります。

委員会は、ロータリー財団とロータリアンをつなぐ連絡係として、当地区の半数近くのクラブが一度も財団の資金を使用していないということを改善し、特に19人未満の小規模クラブの財団プロジェクトへの参加と、同時に寄付の増額を促します。

そのために、これまでに行われてきた種々のプログラムを紹介致します。

### 2. 活動計画

1. 財団委員会及び関連委員会は、少なくとも2ヶ月毎に開催し、要請に応じて各委員会に財団委員長が参加致します。
2. 財団関連委員会と協力して、各クラブで行われる財団プログラムの実施に協力して参ります。
3. 必要に応じて関連委員会を開催して参ります。
4. 学友委員会と協力して、学友の積極的な財団プログラムへの参加と、学友のロータリークラブへの入会を推進して参ります。
5. クラブからの要請があれば、各クラブへの卓話に財団委員会委員が出講致します。
6. 国際奉仕への関心を深め、奉仕活動の参加を推進致します。



委員長  
**澁谷良治**  
 (札幌真駒内RC)

## 地区財団補助金委員会

### 1. 活動方針

- ・R財団と地区の規程、方針に基づき活動を行います。
- ・2020-21年度の年次寄付金は2017-18年度の未配分DDFの20%の半額が追加され、補助金上限額は111千ドル(12百万円)の見込みです。
- ・プログラムの申請は55クラブ(2019-20年度45クラブ)を予定していますが、2次募集はいたしません。

### 2. 活動計画

ー財団補助金の承認ルールー (申請の状況により変更もあります)

- ①1クラブ1プロジェクトの申請とする。
- ②クラブへの補助金の配分は3年前の年次寄附金の1/4(25%)を上限額とする。
- ③9人以下の小規模クラブで年次寄附金の1/4が10万円を下回る場合は補助金を10万円とする。
- ④最高額50万円とする。
- ⑤申請締切り2020年5月31日
- ⑥申請書を提出(補助金プログラム、補助金振込先口座、見積書)。
- ⑦MOU(覚書)を提出する。

ー活動・プロジェクトの種類ー

活動またはプロジェクトの種類		活動またはプロジェクトの種類	
地域社会の発展	一般	ロータリー交換活動	
	災害復興	保健	一般
	建物の修復		疾病
	ボランティア奉仕		ボランティア奉仕
地域調査		平和	一般
教育	一般		ボランティア奉仕
	識字率の向上	プロジェクトフェア	
	奨学金	青少年プログラム	青少年交換、RYLA、ロータクト、インタクト
	ボランティア奉仕	奨学金/VTT	オリエンテーション
食糧/農業/水産	一般	水	衛生
	ボランティア奉仕		供給/確保
補助金管理セミナー			ボランティア奉仕



委員長  
**松原重俊**  
 (砂川RC)

## 財団奨学金・平和フェロー委員会

### 1. 活動方針

国際ロータリーとロータリー財団の指針に沿って、ロータリー財団の奨学生として相応しい奨学生を海外に送り出せるよう、研修および選考のシステムを構築し、ロータリーの重点分野や世界平和を通じて活躍していける様、未来に繋いでいけるようサポートに努めていく。更には、留学期間が終わった後も様々な支援をし、当地区での報告の機会等を頻繁に設けるようにし、地区内ロータリアンの皆様への財団奨学金の啓蒙活動にもつなげていく。更には、財団学友となった奨学生達が将来ロータリアンになって頂けるよう努めていく。

### 2. 活動計画

- ①募集選考準備
- ②財団への申請準備
- ③出発する奨学生者の壮行会準備
- ④候補者の募集選考・面接
- ⑤選考された候補者への説明会(今後の予定説明・誓約書の授受等)



- ⑥ 壮行会準備・実施
- ⑦ 報告書・レポートの確認と配信
- ⑧ 帰国した奨学生による報告会 プレゼンテーション（財団学友会への協力）
- ⑨ 各クラブでの卓話や地区行事での財団奨学金についての広報活動



委員長  
**伊藤利道**  
(札幌幌南 RC)

## ポリオプラス委員会

### 1. 活動方針

- ① ローターリーが行ってきたポリオ撲滅活動を引き続き推進する。日本においてポリオ撲滅活動を行う意義を会員・地域社会に発信する。
- ② ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会等との連携や協力を図り、募金活動やイベント活動を積極的におこなう事を推奨しサポートしていく。
- ③ ポリオ撲滅活動を通してロータリーの公共イメージの向上をはかる。

### 2. 活動計画

- ① 会員一人30ドルのロータリー財団ポリオ撲滅寄付目標について、会員の理解と協力を促進すると共に、年間1,500ドル以上の寄付によりクラブ表彰を受ける事を広報し、地区目標達成に努力する（会員1人30ドル達成のクラブに対してポリオ委員会より達成記念バナーを贈呈する）
- ② 世界のポリオ撲滅活動の近況情報を地区ホームページに掲載し、また卓話や研修などを通して地区内の理解を深めるようにしていく
- ③ ローターアクトと連携して、ポリオ撲滅活動を行う。
- ④ 地区大会にてポリオ委員会ブースを設置、ポリオ撲滅活動を更に推進していく。
- ⑤ グループやクラブのポリオ撲滅活動のサポートの一つとして、ポスターや各種グッズを作成し、各クラブに配布・販売する。
- ⑥ 地区区内で行われた奉仕活動の動画や静止画を募集し、冊子やCDに記録・保存し、各クラブに配布する。
- ⑦ 上記の活動を遂行するためポリオ委員会を定期的に開催する。
- ⑧ 各クラブで世界ポリオデーなどに活用していただくポリオに関するDVDを作成する。



委員長  
**島 義慈**  
(当別 RC)

## 財団資金推進委員会

### 1. 活動方針

- ・ロータリー財団への寄付（年次基金、恒久基金、PHS、ポリオ基金）
- ・ロータリークラブカードの推進
- ・ゼロクラブ0の達成
- ・米山記念奨学会への寄付
- ・各クラブの社会奉仕活動の補助金にもなるので全クラブが応募申請して頂ければと願ひ、補助金委員会とも連絡しながら寄付金の増進を計りたく思っています。

### 2. 活動計画

- ・年次寄付金 \$150 以上 1名/年
- ・ポリオへの寄付金 \$30以上 1名/年
- ・米山記念奨学会への寄付金 ¥16,000以上 1名/年
- ・財団事業への寄付のため月一度の例会時の粗食会の勧め全クラブがロータリークラブカードに加入して頂けるように努める



委員長

**佐藤 竜也**  
(北斗 RC)

## 米山記念奨学・学友委員会

### 1. 活動方針

- ①米山記念奨学事業へのご理解とご協力を推進します。
  - ・事業の目的の周知 徹底
  - ・年間寄付目標 16,000 円普通寄付 4,000 円、個人寄付 12,000 円  
上記目標のため、各クラブ、各会員へのご協力を依頼する。
- ②米山学友会の運営や活動をサポートし、事業に対して 委員が積極的に参加し米山学友会、米山奨学生、ロータリアンの交流を深める支援をしていきます。

### 2. 活動計画

- ①各クラブ、事業等で米山奨学生・米山学友の卓話を実施します。
- ②一昨年度より取り入れたサブ世話クラブ制度を充実させる。
  - ・世話クラブ毎に一サブ世話クラブを設置し、主に奨学生の夏休み・冬休みの期間に年2回程度サブ世話クラブに赴き、卓話や交流を行います。
  - ・原則的に奨学生は単独でサブ世話クラブを訪問し卓話交流を行います。
  - ・サブ世話クラブは、世話クラブの受入が困難な遠隔地のクラブとします。
  - ・奨学生の交通費の一部として各世話クラブに年間 10,000 円を補助します。
- ③地区大会への米山学友・奨学生の多くの参加を支援します。
- ④米山学友も含めた米山奨学生間の交流とカウンセラー研修を兼ね 一泊研修旅行を企画し、ロータリーへの理解を深める大きな機会とします。
- ⑤上記研修にはできるだけ世話クラブ等奨学生の受入が困難な地域で行い、遠隔地のグループとの交流を図ります。
- ⑥上記目標達成のため年5回程度の委員会を開催します。

## 2023-2024年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 福井 敬悟

地区ガバナー指名委員長 国立 金助

2023-2024年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条(ガバナーの指名と選挙)

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

2019年手続き要覧抜粋

Rotary



Region 1 &amp; 2 &amp; 3

# コーディネーター NEWS

2020年 8月号 No.1

発行 : Region 1 & 2 & 3  
 ロータリーコーディネーター  
 ロータリー公共イメージコーディネーター

## COVID-19感染拡大の中でのクラブ運営

新しい年度が始まりましたが、コロナウイルスの感染拡大が世界中で収束が見えない中、各地区・クラブは地区行事やクラブ例会もコロナ前には戻れず、厳しい状況にあるものと拝察いたします。

3大研修もオンラインやビデオでの研修を余儀なくされた地区がほとんどであったかと思えます。新年度が始まる前に、ガバナーエレクトと会長エレクトが face to face の会合を持つことが出来ずに新年度を迎えたのではないかと考えます。そのような状況を考慮すると、情報を共有する方法として、否応なくオンラインミーティングやユーチューブなどを上手に活用する必要があります。ガバナーはじめ地区リーダーには、この機会に、地区・クラブレベルでの IT リテラシーを向上するようリーダーシップを発揮していただきたいと考えます。2月に RI より提供された資料によりますと、「My ROTARY」登録率は高い地区でも65%にとどまり、低い地区では20%に未だ届かない地区も散見されます。

改めて指摘するまでもなく、RI からの情報はほとんどが「My ROTARY」経由となっています。様々な奉仕活動や資料、ロゴ、テンプレートやラーニングセンターでの研修などが利用可能です。この機会に是非、クラブ会員、特に高齢の会員への支援を地区リーダーの方々をお願いしたいと思います。先日、地区内のクラブからオンライン例会への招待があり、メイクアップをいたしました。卓話の講師は、2830 地区の関場 PGがお話され、2690地区、松本 PG 他1名の会員が参加され、総勢 70 名近い例会でした。卓話の前には、グループごとに分かれて、zoomでの会話で盛り上がり、内容の濃い例会となりました。マローニー前会長は、先月に開催された各地域ロータリーコーディネーターとの zoom でのミーティングで次のことを強調されました。1 つは zoom 等オンラインでの例会の奨励、2 つ目は、ハイブリッド型(通常例会とオンライン例会のミックス)の奨励、そして、最後はコロナ下、大変な状況であるが「会員増強」の重要性を強調されました。是非、この機会を捉え、IT リテラシーを向上させ、合わせて「My ROTARY」の登録率を上げるよう奨励ください。

前年度末に、各地域で地区・クラブレベルでの「戦略計画」の導入状況を、調査いたしました。その結果、ほとんどの地区で「戦略委員会」は設置され、活動をされていましたが、クラブでの「戦略計画」導入には相当な温度差があることが分かりました。中には、地区内クラブにおいて「戦略計画」導入クラブ0という地区もいくつか散見されました。コロナウイルス感染拡大下、各クラブはその所在する地域社会での立ち位置を再確認し、クラブの現状を踏まえたうえで、クラブのビジョンを再度、明確にする必要があると思います。これまでの、固定化した例会の在り方やコロナ後への対応を踏まえたうえでの例会など再考する必要があると感じています。コロナ前の社会には戻れない中で、この機会に、クラブの戦略計画を真剣に考える時にあると思います。

第2地域 ロータリーコーディネーター 水野 功(東京飛火野 RC)



Rotary



Region 1 &amp; 2 &amp; 3

# コーディネーター NEWS

2020年8月号 No.2

発行 :Region 1 & 2 & 3  
 ローターコーディネーター  
 ローター公共イメージコーディネーター

## 今こそロータリーがその真価を発揮する時

みなさんは最近 My ROTARY のロータリーショーケースを覗かれたことがあるでしょうか?世界中のロータリークラブがコロナ支援の為に数々のプロジェクトが紹介されていますが、その数の多さには嬉しい驚きがあります。日本国内でもたくさんのクラブが医療従事者へのフェイスシールドや防護服の寄贈、バランスの取れた食事の提供などを行なっています。新型コロナウイルス感染拡大のこの時代は我々人類にとって大きな試練の時ではありますが、今こそロータリーがその真価を発揮すべき時であると言えます。それにはまずロータリアン自身がロータリーの価値を再認識すること、そしてそれを外に向けて発信していくことが重要です。そうすることが会員の気持ちをロータリーにつなぎとめることになり、同時に新会員を迎えるきっかけともなります。「世界を変える行動人」として奉仕活動を行っていきましょう!そして、それを伝えていきましょう!

ロータリーの「新しいビジョン声明」を支える行動計画、4つの優先事項、その1は「より大きなインパクトをもたらす」であり、その2は「参加者の基盤を広げる」であります。この二つの優先事項が「つながりを持つためには、ロータリアンは自分たちの体験したことを自分たちの言葉で語る必要があります。その体験を聞いた人たちがインスピレーションを受け取って、ロータリーに参加する気持ちになることが大切なのです。では私たちロータリアンが外に向けてロータリーを発信する時、それがHPであれ、SNSであれ、イベントであれ、講演会であれ、ポイントとなることは何なのでしょうか。

### ～イメージを統一して伝える～

ロータリアンが思い思いにロータリーのイメージを伝えるよりも、統一性を持ったブランドとして伝える方が効果的です。それには私たちが、ロータリーの価値観を共有するだけでなく、ロータリーのボイスである「賢明さ」「おもいやり」「粘り強さ」「行動を促す力」を念頭に置いて話をする、ロゴを正しく使う、ロータリーを表す色を使う、私たちが行動人であることを表す写真を使う、などが有効です。

それを助けてくれるのが My ROTARY にある「ブランドリソースセンター」なのですが、残念ながらまだまだロータリアンの間で有効活用されているとは言えないのが現状です。今年度は多くのクラブに積極的に活用していただけるよう努めたいと思います。

### ～感動と共に伝える～

大切なのは「自分の言葉で感動を伝えること」です。どんなに立派な文章でも、講演でも発信する人の心が受信する人に伝わらなければ、仮に情報は届いたとしても、インスピレーションは届きません。私たちは自分の体験したことを自分の言葉で感動を持って語らなければなりません。コロナ禍のために、多くの人が顔を合わせて同じ場に集うことがむずかしい時代ではありますが、幸いフェイスブック、ツイッターなどのSNS、地元の新聞やテレビ局のニュースなどのメディアは私たちに味方してくれます。10月24日は「世界ポリオデー」ですが、そのイベントでさえ、今年度はオンライン上で行うことを考えてみてもいいのではないのでしょうか。このような時代こそ、ロータリーが放つ光が世界に届くように活動していきたいと思えます。

第2地域 ローター公共イメージコーディネーター 服部陽子 (東京広尾 RC)

## 第1地域 RRFC便り 7月号



## RRFC からのお知らせ

## 日本の財団目標について

2020-21年度 (RRFC)

第一地域

**羽部 大仁**

habu@honganji.or.jp

第二地域

**服部 良男**

ceo@hattori.org

第三地域

**田村 泰三**

tamurath@chive.ocn.ne.jp

我々財団日本チームは、分かり易く、使いやすい「みんなのロータリー財団」を目指し、補助金プロジェクトをサポートし、そして補助金への参加と補助金を活用して地域社会に変化を生む活動の推進へのお手伝いをします。さて、ラビンドランロータリー財団管理委員長は国際協議会の講演で「財団は、ロータリー会員の財産であり、財団は人々の人生を変えるのです」と述べられています。ロータリアンみんなの財団なので、その存在価値が問われているのです。会員一人一人が関心を持って「世界で良いことをしよう」として始められた「みんなのロータリー財団」に更なるご支援(ファンドレイジング)と新しい補助金プロジェクトへの挑戦をお願いいたします。財団日本チームへのお問い合わせ、ご相談をお待ちしております。そして日本のロータリアンが結束して年次基金寄付ゼロクラブゼロを達成しましょう。昨年度の実績を踏まえて話し合った結果、次年度の日本の目標を次の通りといたします。

## ■年次基金

- ・1人当たり150ドル(日本全体で1,350万ドル)・年次基金寄付ゼロクラブ0達成

## ■ポリオプラス基金

- ・1人当たり 30ドル(日本全体で270万ドル)

## ■恒久基金

- ・冠名基金を各地区1件以上設立

## ■大口寄付

- ・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本全体で100件
- ・AKSを日本全体で10名増やす。中期目標として、2~3年で「AKS0名地区」ゼロを目指す

## ■DDFの活用

- ・DDFの20%をポリオプラスに寄贈
- ・DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます
- ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈。「日本ロータリー平和センター基金(E11659)」の累計が、150万ドルに達すると、毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できます
- ・各地区がDDFを使い切る

## ■補助金

・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進・ロータリー平和フェローシップの促進

### 世界の寄付目標内訳

年次基金	1億3,500万ドル
ポリオプラス基金	1億5,000万ドル(ゲイツ財団マッチング含)
恒久基金	8,500万ドル(2025年までに20億2500万ドル)
その他の基金	4,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
全体	4億1,000万ドル

優先事項は、新しいロータリー行動計画に沿うもので、より大きなインパクトをもたらすためにロータリー財団が行うすべてのことにつながっています。

第一の優先事項はもちろん、ポリオ根絶です。

第二の優先事項は、2025年までに恒久基金を20億2,500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やすことです。

この年度の総合的な寄付目標は、前年の目標よりわずか1,000万ドル多い4億1,000万ドルです。

第三の優先事項は、補助金の測定可能なインパクトを高めることです。

## ポリオ根絶に向けてのお力添えに感謝申し上げます



新型コロナに関心が集中する中、ポリオ根絶活動も継続されています。現在、アフガニスタンとパキスタンで昨年の同時期より多くの野生型ポリオによる発症がでており、予断を許さない状況が続いています。

◎詳しくはこちらをご覧ください <https://on.rotary.org/2mmQZlt>



## 第1地域ゼロクラブ0を達成しました

毎年6月末になると騒がしくなります。今年は特にコロナ禍で迎える年度末になりました。多くの財団を支える皆様のご支援の下、第1地域の14地区は4年連続で「ゼロクラブ0を達成」することが出来ました。心から感謝・御礼を申し上げます。多くの方から今年は無理ですよと囁かれていたのが現実でした。しかし、いざ年度末を迎えると今までの経験値なのか、ロータリアンの相手を思いやる「利他の精神」で達成できたに違いありません。皆様本当に有難うございました。

## 地区財団セミナー視聴用動画を作成しました

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各地区での研修やセミナーが中止や延期になっております。各地区のガバナー・地区財団委員長には苦慮しておられる報告を受けてまいりました。何かお手伝いできることはと考へまして「地区財団セミナー視聴用の動画」を作成いたしました。

再生履歴
検索履歴
コメント

今日



**地区財団セミナー用 DAININ HABU**  
Chikako Demura  
1回視聴

RRFC DAININ HABU - 長さ: 13:36。



**RRFC DAININ HABU**  
国際奉仕委員会  
8回視聴

昨日



**国際奉仕・VTT委員会**  
吉井千博  
26回視聴



**No 4 札幌北RCメッセージ動画**  
Chikako Demura  
68回視聴



**RRFC DAININ HABU**  
国際奉仕委員会  
8回視聴

地区財団セミナー 動画(20:49)DAININ HABU

お気軽にご活用戴けましたら幸いです。

<https://youtu.be/vA3BljQzadM>



# 新会員のご紹介

(敬称略)



深川RC

**清水秀晃**

令和2年7月7日入会  
自動車販売



滝川RC

**阿部俊彦**

令和2年7月2日入会  
公証人



滝川RC

**船橋 儀**

令和2年7月2日入会  
金融業



滝川RC

**山口洋史**

令和2年7月2日入会  
臨床検査



江別RC

**及川哲也**

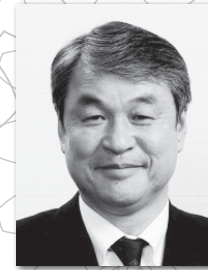
令和2年7月2日入会  
ガス事業



苫小牧RC

**大矢正也**

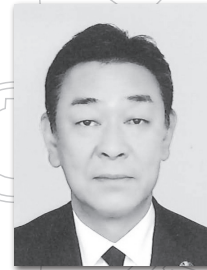
令和2年7月3日入会  
生命保険



苫小牧RC

**小林健司**

令和2年7月3日入会  
ホテル



苫小牧RC

**水本健一**

令和2年7月17日入会  
地方銀行

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに  
心からご冥福をお祈り致します



苫小牧RC

**梶川 昇** 会員 2020年7月21日ご逝去 (享年 70 歳)

**【ロータリー歴】** 1992年2月7日 入会  
1996-1997年 幹事  
2012-2013年 クラブ会長

**【表彰】** ポール・ハリス・フェロー



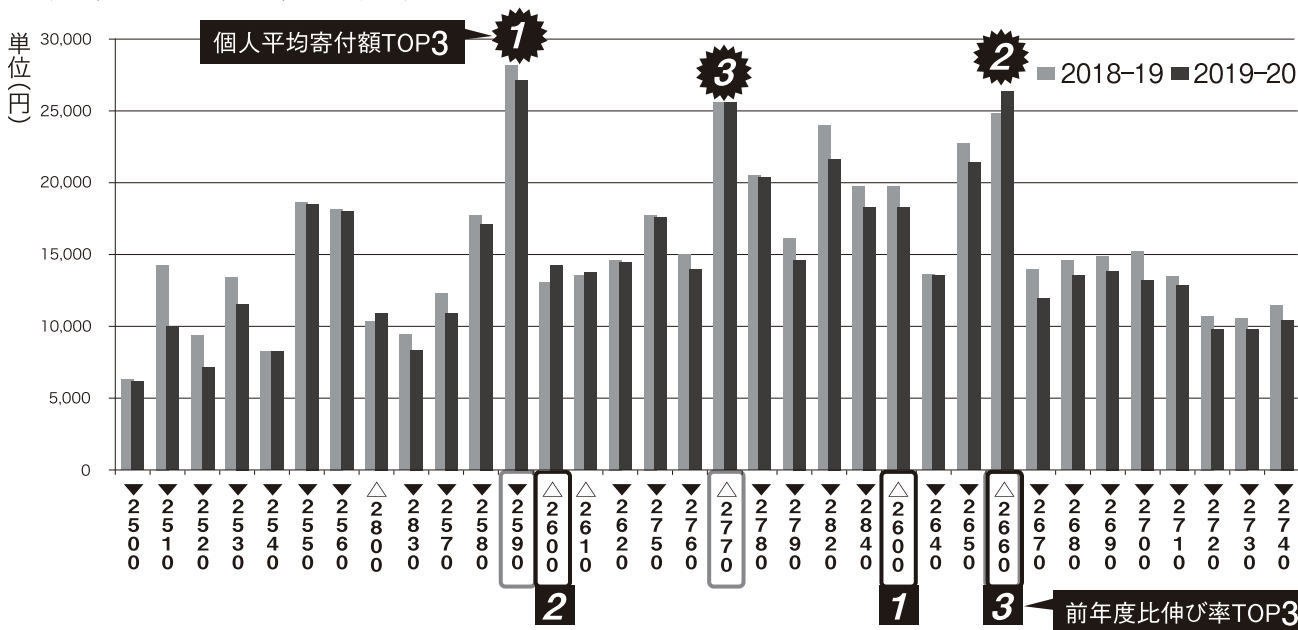
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

2020.8.00  
VOL.244

## 1 2019-20年度寄付金結果

2019-20年度の寄付金は約13億3,600万円でした。新型コロナウイルスの影響により2月から寄付が徐々に減少し始め、最終的に前年度比5.3%減（普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:7.1%減）、約7,500万円の減少となりました。2019年度予算は13億7千万円で見積りしましたが、予算達成とはなりません。このような苦しい状況にも関わらず、皆さまからいただいたご支援に心より御礼申し上げます。今年度も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均: 15,055円】

- ① 第2590地区: 27,190円
- ② 第2660地区: 26,378円
- ③ 第2770地区: 25,592円

前年度比伸び率 TOP3

- ① 第2630地区: 111.5%
- ② 第2600地区: 108.2%
- ③ 第2660地区: 105.9%

## 2 事務局長交代のお知らせ

6月30日をもって岩邊俊久が事務局長を退任し、7月1日より柚木裕子が新たに事務局長に就任しました。



【就任のご挨拶】ロータリー米山記念奨学会は設立以来、多くのロータリアンの皆さまのご尽力で公益財団法人として立派な業績を築かれてきました。その組織が円滑に運営されるよう事務局の立場から支え、次へしっかりと繋ぐというのが私の役割であり、その責任を感じています。事務局職員と力を合わせ、広くコミュニケーションを図りながら透明性を

高め、信頼していただける事務局づくりを心掛けてまいります。新型コロナウイルス禍によるさまざまな課題に直面していますが、役員の皆さまから知恵をいただき、ロータリアンの方々の活動に寄り添いながら米山奨学事業を支えていくことのできる組織を目指したいと思います。今後とも皆さまのご理解とご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ゆのき ひろこ

(公財)ロータリー米山記念奨学会 事務局長 柚木裕子  
愛知県出身。1972年から1年間、財団奨学生としてフランスに留学。93年より第2780地区ガバナー事務局勤務を経て2020年7月から現職。日本ロータリー学友会幹事。第2780地区かながわ湘南RC創立幹事。



### 3 理事会開催報告

6月16日に東京で開催を予定していた第25回理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面による決議となりました。一般法人法第96条(定款第37条)に基づく理事会の決議の省略の方法により、6月19日付で全提案について、原案通り承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされました。

#### 【主な議案】

役員候補者指名委員選任の件／2021学年度 米山奨学生採用の件／2021学年度 募集要項の件／

2020年度事業計画書承認の件／2020年度 収支予算書承認の件／2020年度 資産運用方針の件／事務局長人事の件

奨学生採用数は、寄付金収入から算定した人数のほか、配当金収入や積立金取崩収入からの人数を加算して決定されます。本理事会の決定により、2021学年度の採用数は、前年度比30人(枠)増の890人(枠)となります。なお、各地区の奨学生割当数は、6月19日に各地区にお知らせしています。

### 4 米山学友中心のクラブが医療支援プロジェクト

米山学友を中心に設立された東京米山友愛RCと、その子クラブである東京米山ロータリーEクラブ2750が「医療物資支援プロジェクト」を実施しました。

このプロジェクトはメディカルマスク、感染症防止キット(防護服と靴カバー)、医療用ゴーグルを市場価格より安価に提供するもので、ロータリー関係者に広く呼びかけたところ、全国のロータリアン個人のほか、10地区41クラブなど約100件の申し込みがありました。購入者からは「おかげで地域の医療機関に寄贈することができた」、「まとまった数の医療物資を手に入れるのが大変だったので助かった」など、感謝の声が寄せられています。

この活動により、東京米山友愛RCはガバナー賞、東京米山ロータリーEクラブ2750は

ガバナー特別賞をそれぞれ受賞。また、国際ロータリーからは世界で活躍するCOVID-19の活動の一つとして取り上げられ、実行委員の朴貞子さん(世話クラブ:岸和田RC)が2020年ロータリーバーチャル国際大会で活動を紹介しました。

4月に創立10周年を迎えた東京米山友愛RCは、新型コロナウイルスのため記念式典や奉仕活動の中止を余儀なくされました。そんな中、ロータリアンとして何か行動したいという思いから、林芳さん(東京麻生RC)と王輝(瀬戸RC)、中前 緑さんが発起人となって立ち上げたプロジェクト。朴さんは「オンラインでも、最高の仲間と最高の奉仕活動ができたことを誇りに思います。米山最高!」と、コメントを寄せてくださいました。



### 5 マレーシアの子どもへマスク支援

マレーシアでは6月24日から段階的に学校が再開しました。登校する生徒にはマスク着用が義務づけられており、貧しい家庭の経済的負担を少しでも減らしたいと、マレーシア米山学友会では計15,000枚超のマスク寄贈プロジェクトを開始。ペナンの



2校と、ジョホールバルの4校へはすでに寄贈を済ませ、今後18日に首都クアラルンプール市外の少なくとも6校へ寄贈予定だということです。

←ペナンの高校へ寄贈する  
黄麗容会長たち

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/  
編集担当:野津(のづ)・峰(みね)

# 地区カレンダー 8月 ▶ 9月

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間	
1 土	
2 日	
3 月	公式訪問（函館亀田RC）
4 火	公式訪問（函館東RC、函館セントラルRC）
5 水	公式訪問（函館北RC）
6 木	公式訪問（北斗RC）
7 金	公式訪問（札幌ライラックRC）
8 土	
9 日	
10 月	山の日
11 火	
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	
19 水	公式訪問（留萌RC）
20 木	公式訪問（羽幌RC）
21 金	公式訪問（札幌幌南RC）
22 土	
23 日	
24 月	
25 火	公式訪問（江差RC、七飯RC）
26 水	公式訪問（森RC）
27 木	公式訪問（函館RC、長万部RC）
28 金	公式訪問（函館五稜郭RC）
29 土	
30 日	
31 月	公式訪問（洞爺湖RC）

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1 火	公式訪問（伊達RC、室蘭北RC）
2 水	公式訪問（室蘭東RC）
3 木	公式訪問（室蘭RC、登別RC）
4 金	
5 土	
6 日	
7 月	
8 火	公式訪問（札幌はなますRC、北広島RC）
9 水	公式訪問（余市RC）
10 木	公式訪問（岩内RC）
11 金	
12 土	
13 日	
14 月	～15日（火）第1回ガバナーエレクト研修セミナー（ZOOM会議） 公式訪問（蘭越RC）
15 火	公式訪問（札幌清田RC）
16 水	公式訪問（静内RC）
17 木	公式訪問（えりもRC）
18 金	
19 土	
20 日	
21 月	敬老の日
22 火	秋分の日 札幌西RC創立60周年記念式典
23 水	公式訪問（新札幌RC）
24 木	公式訪問（札幌西北RC）
25 金	
26 土	
27 日	
28 月	
29 火	
30 水	

2020年8月のロータリーレートは地区HPをご覧ください。

新型コロナウイルス拡大に伴う

2020-2021 国際ロータリー 第2510地区

# 地区大会

## 開催延期のお知らせ

ロータリーは  
機会の扉を開く



Rotary Opens Opportunities

地区大会  
実行委員会  
より

新型コロナウイルス感染  
拡大防止を鑑み、  
参加者および関係者の皆様の健康と  
安全面を第一に考慮した結果、  
以下の期日に延期することに致しました。

**2021年5月15日(土)・16日(日)**

**札幌パークホテル**

札幌市中央区南10条西3丁目1の1 TEL:011-511-3131(代表)

- 1日目…会長・幹事会／地区指導者育成セミナー／RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
- 2日目…本会議／スパウス／記念講演／記念懇親会

**2021年5月17日(月)**

**地区大会記念ゴルフ大会**

会場／小樽カントリークラブ

なお、今後の状況次第では中止せざるを得ない場合もございますので、  
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

地区大会実行委員長 池田 和陽



## YONEYAMA SCHOLARSHIP

## 米山奨学生の紹介

## 私の留学目標

何 梁棟 カ リュウトク(中国)  
北海道大学・札幌ライラックRC



私は何梁棟と申します。中国南部の広西チワン族自治区から来ました。現在は北海道大学の農業経営学の博士2年生です。今年で来日5年目になります。留学を決意したきっかけは、私の故郷である中国広西省で、貧困地域を対象とした非営利の塾を開いた日本人(新聞社の元記者)と出会ったことです。私は、塾生徒として受け入れてもらい、日本語に加え日本人の価値観や日本文化について学ぶ機会を得ることができました。それを機に、日本の経済・社会・文化に対する魅力を強く感じ、日本への留学を決めました。その後、農業経営学の研究蓄積が豊富な日本で精緻な研究手法を学びながら、中国ライチ産地の農業産業化に関する研究に取り組みました。私の故郷は中国で「ライチの郷」という美称を有している広西省の靈山県です。ライチには、幼少期に木登りをしながら食べていた思い出があり、私にとってライチは大変印象深い果物です。それをきっかけとして、熱帯果樹産業の発展に関心を持ち始め、自分の研究を通じて母国の熱帯果樹産地の発展に貢献したいと思いました。このような熱意を抱きながら、研究を進めていくと、自分の目指す研究者像が次第にできてきました。私が目指す研究者像は、4人の恩師と深く関係しています。

①研究地域に頻繁に通い、調査農家と親しむ同研究



室の先生(2名)；②東日本大震災後に被災地支援のために福島大学に赴任し、原子力災害からの復興に関する研究を行っていた先生；③大学時代に出会った貧困地域の中国広西省にて非営利の塾を開き、当時塾生徒であった私たちに日本語のみならず、日本人の価値観やコミュニケーション方法を教えていただいた塾長です。このように、私が目指している研究者像は、高い研究能力に加え、指導教員のように強い社会貢献意識を抱き、同研究室の教員のように熱意を持ち、新聞社記者のように日中両国の架け橋となる研究者です。将来、所属研究室で博士(農学)の学位を取得した後、農業経済研究者として中国の大学に就職して、日中両国の農業発展を支える研究・教育活動に従事したいと考えています。特に教育の面では、日本で学んだ農業経営知識に加え、日本人の真面目さと学術に対するこだわりを学生に教え、さらに多くの学生を日本に行かせることなど、国際的な視野をもつ農業経済研究者を育成するために努力しようと思います。また、文化交流の面では、幼少期に専門教育を受けた歌唱力を活かして歌謡による文化交流を行い、日本で中国歌謡を紹介することに加え、日本の民謡(現在は沖縄民謡を練習中)に親しみ、中国人へ紹介するという取り組みを続けたいです。幸いなことに、今年度はロータリーからのご支援をいただき、非常に充実した文化交流のチャンスとしての例会に毎月出席できるようになります。国際色豊かなロータリーの例会で出会える人・文化・物事、及びロータリーの精神を学んで成長していく一年後の自分のことを楽しみにしています。将来、自分の研究成果と日本文化交流の経験を活かし、日中両国の農業発展・友好交流への架け橋となるように頑張っていきたいです。

## ロータリー 探訪



# 人間力

地区職業奉仕委員会 委員長

玉井 清治 (函館亀田RC)



ロータリーの会員が減りつづけています。

新型コロナウイルスの影響を理由とし、退会届けが出て、「それでは仕方がない」と受理するクラブが多数と察しますが、それは口実にすぎず、退会者にとっては理由づける良い機会だったのかもしれませんが。コロナの影響で苦しいのは皆同じです。

今月は会員増強月間でありますので、職業奉仕と会員増強の関連性について考えてみたいと思います。会員を増やす「増」と、会員を強くする「強」に分けると、職業奉仕は会員増強の「強」の部分を担当しております。

ロータリーは会員増強と言っているのであって、クラブ増強とは言っておりません。したがって、会員増強の目的は会員のためにあることを忘れてはならないと思います。

職業人で構成されているロータリークラブ全会員の共通した願いは「自分の事業所の永続的繁栄を願う」ということではないでしょうか。自分の職場をより良くすることは事業責任者であれば当然のことです。

ロータリーに入会し、高い会費を支払い、その対価たるメリットを感じなければ退会者が出るのはごく自然のことだと思います。事業を営んでいる人であれば誰も「今以上に売上げを伸ばしたい」と願っているもので、それには今の自分にはないものを求めています。それは「他業界から学ぶノウハウ」や自身の「人間力の向上」などでしょう。仕事の内容については、その道のプロですので、他人にとにかく言われることのない技量はありますが「人間力」いわゆるヒューマンスキルの高さはなかなか日々の仕事上で備えることは難しいものです。

ロータリークラブに在籍している会員はこの備えを求めているものであり、自己研鑽し、メリットとして感じていると私は推察いたします。

仕事上で、失敗した時に大きなリスクを孕んでいる決断こそが、重大な決断と呼べるものです。不安定不確実な状況で、多くの部下や関係者が背後にいるという責任の

ある立場としてどのような決断を下すか、また決断を下した後にその決断をどれだけ周りに納得してもらい、遂行のために個々人のポテンシャルを十分に発揮することができるのか。それを左右する大きな要素が、ビジネスにおける「人間力」の高さ、つまりリーダーとしての信頼度の高さだと言えます。

「人間力」を高めるためには、思いやりの精神を常に心の中に入れ、目標設定をして達成のための努力をする。このことはクラブ運営プログラムの中にきっちり入っており、与えられた役職を真剣に遂行し、素晴らしい奉仕活動に踏襲することなく新しく改革するなど、自分自身を磨く絶好の組織がロータリーなのです。ロータリーの奉仕理念を明文化した決議23-34の中に「クラブは会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきである」と書かれてあるように、会社経営で大事な「人間力」の向上にロータリークラブで毎週訓練しているのです。

これをメリットと感じ、その素晴らしさをロータリアン以外の人に伝えて入会いただき共有すること。すなわち将来素晴らしいロータリアンになれる資質を持った人だと信じるに値する人を積極的に会員増強して、一生継続自己研鑽の場であるロータリー・ライフの中で、互いにその質を高めていくのが、最も現実的かつ効果的な方法ではないでしょうか。

まさに例会の重要性、特に内容の充実を成し遂げることこそ、会員増強の「強」に大きな影響を及ぼすことでしょう。RIはクラブの柔軟性を強調し、独自性の追求と規制緩和を与えてくれましたが、受け取る側のクラブが末期症状に鎮痛剤を投与するような行動になってしまっただけではクラブの繁栄には繋がらないと思いますし、ロータリアン個人のためにもなりません。

会員増強の方法論は地域性や独自性により、最終的には各クラブの工夫に委ねざるを得ませんが、大事なことは会員増強委員会に頼ることなくクラブ会員全員で認識を持ち取り組み、それと同時に根本的なロータリー研修の強力な実施が必要なのではないでしょうか。



## 2022年 規定審議会の立法案提出のお願い

2022年の規定審議会に立法案の提出を希望されているクラブは、2020年10月31日までにガバナー事務所まで書面にてお知らせ下さい。

例年であれば地区大会での大会決議で採択するところではありますが、新型コロナウイルスのパンデミックにより、地区大会が2021年5月開催となり、立法案の締め切りの2020年12月31日までには間に合いません。

そこで、クラブから立法案の提出がありましたら、11月以降にその立法案につきまして全クラブによって郵便投票をすることになります。

[立法案検討委員会]

委員長 酒井 正人PG(規定審議会代表議員)

副委員長 安孫子建雄PG

委員 羽部 大仁PG・嵯峨義輝PG・福田武男PG

## ぜひホームページをご活用ください!

Home お知らせ 例会情報 カレンダー 組織図 メルマガ

**新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染拡大に伴う例会について**

- ・例会開催においてビジターの受け入れ等に関し、一部通常とは異なる例会開催をしているクラブがございます。
- ・クラブの例会開催は都度変更される場合がございます。各クラブのホームページの確認や出席を検討される場合には事務局等への確認をお願いいたします。

2020-2021年度 ガバナー **福井敬悟** (札幌手帳ロータークラブ)

最新情報

すべて	例会情報	地区行事	お知らせ
2020.07.16			<b>【職業奉仕委員会より】決議23-34・ロータリー年表</b> お知らせ
2020.07.10			<b>福井ガバナー月信第1号 (2020年7月)</b> お知らせ
2020.07.08			<b>2021-2022年度 ロータリー財団奨学生 募集要項</b> お知らせ
2020.07.06			<b>【職業奉仕委員会より】職業奉仕の手引き・ロータリアンの行動規範</b> お知らせ
2020.07.02			<b>[News2510-1407] 国際ロータリー為替レート (2020年7月分)</b> お知らせ
2020.06.30			<b>ポリオプラス委員会上り</b> お知らせ

① ロータリー委員会一覧 +

② 地区研修・協議会 会長エレクト研修セミナー 動画専用サイトはこちら

END POLIO NOW  
世界のポリオ現在の発生状況  
R12510地区 ポリオプラス委員会  
2020.6.30更新

ICT委員会委員長 **堀元雅司**

今回は、リニューアルした2つをご案内させていただきます。

①各委員会より情報がきておりますので、随時更新しております。資料のダウンロードも可能です。

②動画専用サイトを掲載しております。  
☆会長エレクト研修セミナー  
☆地区研修・協議会  
をご覧いただけます。

※ホームページ下側の各クラブリンクは、各クラブのホームページへのリンクとなっておりますので、URL変更などございましたらICT委員会にご連絡をお願いいたします。

ICT委員会委員長 **堀元雅司**



## 表紙の解説

「第8グループの地区は、自然を尊び楽しむ生き方を学び、共存の漁業・農業・軽種馬を生業として、人たちは自然の豊かな生活を発信しております。人の住む快適な街づくりと、日々、目の前の厳しい環境問題を深く理解して感じて、その多くの植樹奉仕。人の手で守る行いはインスピレーションを与え続けております。」





### 第8グループ

●えりもRC ●三石RC ●様似RC ●静内RC ●浦河RC



日高の昆布採り船と生昆布の水揚げのようす



天日干し日高昆布とおかまわりの人たち



日高春定置網漁の時不知(ときしらず)仕分け作業のようす